

木まぐれ木曜日

令和8年9月3日 第199号
編集・発行：嶺北林業振興事務所
住所：〒781-3521 土佐郡土佐町田井1445-1
TEL：0887-82-0162 FAX：0887-82-0200
e-mail：030203r@ken.pref.kochi.lg.jp

嶺北林業振興事務所のホームページ URL：http://www.pref.kochi.lg.jp/~reihokurin/index.html

◆嶺北林材協同組合 大径材製材ラインが竣工

大豊町川口にある嶺北林材協同組合に、丸太の直径が30cm以上の大径材を加工できる製材ラインが新たに導入され、令和8年6月5日に竣工式が行われました。

「県内産大径材の加工体制の強化」

高知県内では、戦後に植林されたスギやヒノキが成熟したことにより12齢級（樹齢56～60年生）以上が増加し、年々大径材の占める割合も増加しています。大径材とは、丸太の末口径（木の先端側の細い方の直径）が30cm以上のものをいいます。

しかし、県内には大径材を効率的に加工できるラインを備えた工場が少なく、伐採された大径材が県外へ流出しているケースもあることから、同協同組合では生産量の増加、生産性の向上と省力化など、大径材に対応した製材加工施設の整備を進めていく経営判断をし、これまで元口径40cmまでであったものを60cmまで対応可能な製材機械を導入しました。



同協同組合が導入した「ロボット式ツイン帯鋸盤」。本機械の稼働により、大径材を効率的に製材することが期待される。

「中径木用から大径木用の製材ラインに一新」

これまでの中径材製材工程に、デジタル技術を活用したオーダーメイドの専用設備を導入することで生産ラインは大径材製材工程の1ラインに集約化され、完全自動化・無人化による人員及び作業時間の削減が可能となり、これまで6人で対応していた製材の工程を3で対応できるようになりました。

また、新しい機械の導入により安定的かつ高い生産量を維持することができるようになり、現在の原木消費量ベースで年間2万立法メートルから3万立法メートルに拡大することが見込まれるとのことで、さらなる市場競争力の強化が期待されます。



「大径材製材ラインのデモンストレーション」

竣工式での神事後、新設備の稼働を披露する製材デモンストレーションが行われました。デジタル技術を駆使した最新のオーダーメイド設備に大径材が次々と投入されると、ミリ単位の精度で瞬時に柱や板材へとカットされ、寸法ごとに自動分別されていく一連の工程を、多くの参加者が見学しました。

「今後の取り組み（新規事業分野への展開）」

坂本一代表理事は「この嶺北地域で出るスギ材に関しては、基本的にすべてのものを使う。その中で地産地消の部分も生かしながら、県外の方へも販売していければ非常に嬉しい。本竣工を新たな出発点として2×4住宅向け新製品の生産にも着手し、これまで以上に地域の森林資源を活用した製品をお客様に安定的にお届けできる体制を整備していく。」と話されていました。



★小規模林業従事者の方へ★

県では、小規模林業推進協議会員の皆様を対象に、労働安全衛生の向上を図っていただくための補助事業（熱中症対策、蜂刺され対策、傷害総合保険加入、安全装備等の導入支援等）を実施しております。これらの事業は、「高知県小規模林業推進協議会」の会員であることと、前年度に60日以上林業就業実績があること等が補助の要件となっております。同会へ入会をご希望される場合には、お近くの林業（振興）事務所へご相談ください。その他の補助事業については、高知県小規模林業推進協議会ホームページ中の支援制度紹介をご確認ください。

(QRコードはこちら)



熱中症対策・蜂刺され対策事業のご案内

過酷な現場環境から身を守り、夏の安全作業を徹底するための補助制度です。

交付申請 最終期限

2/28 まで

(予算枠に限りあり・お早めに)

熱中症対策促進事業

夏の厳しい暑さから作業者の身体を守るため、遮熱服や冷却用デバイス・機器の購入を広く補助します。

補助上限額（1人あたり）

12,500円

補助率

1/2以内

補助の対象となる経費

- ☑ 換気機能付作業服（ファン・バッテリー等含む）
- ☑ 水冷服（水循環式ウェア）
- ☑ ペルチェベスト（温冷プレート搭載ウェア）
- ☑ 現場用日よけテント・スポットクーラー
- ☑ 熱中症指数測定器（WBGT計）等



対象となる要件

- ☑ 小規模林業推進協議会の会員であること
- ☑ 前年度に**60日**以上の林業就業実績があること
- ☑ ※ 2年連続での本制度利用はできません。



蜂刺され対策事業

屋外作業での命に関わる蜂（ハチ）刺されやアナフィラキシーショックを防ぐため、受診・器具購入費を補助します。

自動注射器 補助上限額

5,000円

その他補助率

1/2以内

補助の対象となる経費

- ☑ 蜂アレルギー血液検査費（抗体検査等）
- ☑ 自己注射器（エビベン）購入費（※1人1個まで）
- ☑ 処方登録受託医師診察料
- ☑ 自己注射管理指導料
- ☑ 毒液吸出し救急用具（ポイズンリムーバー）等

※例：12,000円の自動注射器（エビベン）を購入した場合、補助金上限5,000円が交付されます。

対象となる要件

- ☑ 小規模林業推進協議会の会員であること
- ☑ 前年度に**60日**以上の林業就業実績があること



事業内容のご確認・申請書のご提出窓口（共通）

林材業労働災害防止協会高知県支部（林災防）

088-856-5721

傷害総合保険加入促進事業のご案内

対象となる要件

- ☑ 推進協議会の会員であること
- ☑ 前年度に**60日**以上の林業就業実績があること

補助上限（1人あたり）

13,500円

補助率：2分の1以内

交付申請 最終期間

2/28 まで

(予算枠に限りあり・お早めに)

傷害総合保険事業に関する お問合せ・交付申請書のご提出窓口
林材業労働災害防止協会高知県支部（林災防）

088-856-5721

【要確認！】



・予算に限りがありますので、補助金を活用予定の方は、「林材業労働災害防止協会高知県支部（林災防）」に確認してください。

・交付申請書は速やかに「林材業労働災害防止協会高知県支部（林災防）」に提出してください。

★小規模林業従事者の方へ★

安全装備等の導入支援事業のご案内

林業の労働災害を防ぎ、安全な作業環境を整えるための購入補助制度です。

安全装備購入費 補助上限（1人あたり）

20,000 円

（補助率：2分の1以内）

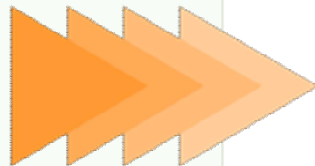
交付申請 最終期限

2/28 まで

（予算枠に限りあり・お早めに）

補助の対象となる「安全装備等」

- ☒ 保安帽（ヘルメット）
- ☒ 防振手袋
- ☒ フェイスガード / イヤーマフ
- ☒ チェーンソー防護ズボン
- ☒ 防護チャップス・ジャケット
- ☒ 先芯入り・滑り止め付き作業靴



※各装備の詳細な製品規定（規格や基準）は、上記の QRコードからご確認ください。

要件A：新規に始める方

新規参入支援（特別教育の修了が必須）

必須となる3つの資格

指定された下記の3つの特別教育をすべて修了すること。

- 1.（小型）車両系建設機械特別教育
2. 走行集材機械運転業務特別教育
- 3.（簡易）架線集材装置等運転業務特別教育

今年度の受講・支給の条件

① 3つとも未受講の方

→ 今年3種すべて新規受講して修了

補助対象 ○

② 過去に1～2つ受講済みの方

→ 今年残りの未受講分を新規受講して修了

補助対象 ○

③ 過去にすべて修了済みの方

→ 今年新規受講なし

対象外 ×

※指定の特別教育は「高知県立林業大学校短期課程」等で受講可能です。

要件B：継続活動の方

継続活動支援（林業の実績がある方）

対象となる条件

- ☒ 小規模林業推進協議会の会員であること
- ☒ 前年度の林業就業日数が、合計で60日以上あること



注意ルール

「継続活動支援」について、2年連続での補助金の利用（毎年の安全装備購入）はできません。

予算枠に限りがございます。申請を行う予定の方は、必ず事前に「林災防高知県支部」へ残り予算の有無をお問合せ・ご確認ください。
また、購入・受講完了後は、速やかに各種必要書類（交付申請書等）を提出してください。

安全装備等の導入に係る お問合せ・交付申請書のご提出窓口
林業労働災害防止協会高知県支部（林災防）

088-856-5721



★久松氏の発表が林野庁長官賞受賞★

「『地蔵寺集落営林部会 杣 有限責任事業組合』が林野庁長官賞を受賞」

令和8年2月、土佐町の地域林業グループ「地蔵寺集落営林部会 杣 有限責任事業組合」（代表社員：久松修平氏）が、令和7年度全国林業グループコンクールにおいて林野庁長官賞を受賞しました。久松氏は、令和7年7月に行われた第31回中国・四国ブロック林業グループコンクールにおいて最優秀賞を受賞され、同ブロックの代表として全国大会に臨み、同組合を中心としたウラジログシ出荷の取組を発表しました。受賞後、嶺北林業振興事務所を訪れ、賞状と盾を披露してくださいました。



当事務所を訪問した時の様子
(久松氏（写真向かって右）)

「審査員の評価」

講評では、審査委員長を務めた東京大学准教授・安村氏が「令和4年設立とまだ日が浅いにもかかわらず、これほどうまく回る仕組みを作られたことは何よりすごい」と高く評価してくださいました。続けて、「突出した技術や熟練の腕を必要としない取組だからこそ、地元の方々や他の地域にも広がりやすいのではないか」と分析し、「将来性が楽しみ」と結びました。ウラジログシという地域資源の可能性に光を当て、それを持続的に生かす仕組みを作り上げたことが、審査員から高く評価されました。



「ウラジログシ出荷」

同組合が力を入れるのが、需要の高いウラジログシの枝葉出荷です。出荷量は令和5年度の1,314kgから令和6年度は3,583kgへ拡大しました。荷造りなどの軽作業が中心で初心者でも参加しやすく、これまで林業に関わりの薄かった花木農家やゆず農家なども加わり、現在は13名で活動しています。出荷作業は10月から3月にかけて行われ、樹上での選定や株元からの伐採を経て、枝葉を1束5～10kgに荷造りして出荷。ウラジログシは萌芽更新が期待できるため、伐採後5～10年で再び採取できるのもこの取組の強みです。

「どんぐりから始めよう」

自生するウラジログシの資源には限りがあるため、令和6年からは人工林の皆伐跡地や地域住民の山林など計4カ所に苗木700本を植樹しました。しかし、苗木は挿し木ではなくどんぐりから発芽させる必要があります、必要数にはまだ届いていません。そこで令和7年、約10,000個のどんぐりを採取し、本格的な育苗にも着手しました。令和8年春からは、ビニールハウスや露地での本格的な育苗にも取り組み始めました。このように、ウラジログシの枝葉出荷までの長い年月を見据え、「出荷しながら、植えながら」の持続可能な資源循環モデル構築への挑戦が、着実に始まっています。



「地域とともに、次世代へ」

同組合は、令和6年からは隣町の住民とも意見交換会を重ね、出荷量の調整にも取り組んでいます。「この活動を通して、これまで山仕事に縁の薄かった住民にも山林と関わる機会を提供できた。今後も、こうした関わりをさらに広げていくことで、山仕事の面白さを知っていただき、林業を魅力ある仕事として次世代へつないでいきたい。」と久松氏。今回の受賞を機に、「嶺北地域発の取組みが、全国のウラジログシ産地のモデルケースとなるよう、これからも頑張っていきたい」と、力強く決意を語っていました。



◆高知県立林業大学校PR①オープンキャンパス開催！



高知県立林業大学校ってご存じですか？

- 高知県は面積の84%を森林が占める森林県です。戦後に植えられたスギやヒノキが十分育っています。
- 林業は「木を伐って、使って、植える」を繰り返しながら、森林を守る重要な仕事です。
- 高知県立林業大学校は、森林や林業、木材産業に関する様々な知識や技術を身につけて、林業現場等で活躍できる高度な技術を持った人材を育成する学校です。
- 7月下旬から令和9年度の研修生を募集しています。※詳しくは次ページをご覧ください。



林業大学校と林業関係の動画等もご覧ください！

林大×もりりん



研修風景



林業の1日
【R7作成「新」】



林大
Instagram



林大YouTube
チャンネル



2025夏の
オープンキャンパス



オープンキャンパスも開催(4回/年)！

- ①夏のオープンキャンパス：8月1日(土) ②秋のオープンキャンパス：10月12日(月)
- ③冬のオープンキャンパス：12月19日(土) ④春のオープンキャンパス：3月6日(土)

開催時間10:00～/13:30～ 定員各50名、学校説明、在校生との意見交換は共通。

①は研修内容(チェーンソー、林業機械)の体感(実演の見学)。

③～④はチェーンソー、林業機械の操作を実際に体験できます。

※オープンキャンパスの申込みは林業大学校のホームページ又はこちらのQRコードから→
各オープンキャンパス終了後に次回の募集を開始。



林大HP



●エブリデイオープンキャンパス

学校の概要説明や講義内容、施設の見学、教員との相談にも対応。平日(8:50～16:10)。
希望日の2週間前までにお申し込みください。

※エブリデイオープンキャンパスの詳細や申込みはこちらのQRコードから→



◆高知県立林業大学校PR②研修生募集！



林業・木造建築を学ぶ、プロに導く。

高知県立林業大学校 令和9年度 研修生募集

基礎課程

定員20名

林業技術や林業機械の操作、森林路網の開設など、フィールドワークが約7割を占め、即戦力となる人材を育成します。

取得できる修了証
(技能講習・安全教育)

林業分野に就業する上で必要な下記の14の特別教育
及び技能講習修了証を研修期間内に取得できます。

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 車両系建設機械運転技能講習修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- 玉掛け技能講習修了証
- 不整地運搬車運転技能講習修了証
- 走行集材機械運転業務特別教育修了証
- 伐木等機械運転業務特別教育修了証
- 簡易架線集材装置等運転業務特別教育修了証
- はい作業従事者安全教育修了証
- 機械集材装置運転業務特別教育修了証
- 赤十字ベーシックライフサポーター認定証
- 狩猟免許(わな猟免許)



専攻課程

定員30名
(各コース10名)

大学教授や各分野の第一線で活躍する講師による
充実した授業で最先端の技術や知識が身につきます。

森林施業のプランナーへ 森林管理コース

森林GISの活用方法や森林施業プラン書の作成技術などを習得した、林業経営の中核を担う人材を養成します。



林業現場のエキスパートへ 林業技術コース

高性能林業機械のメンテナンスや架線技術などを習得した、林業技術のエキスパートを養成します。



木造建築のプロフェッショナルへ 木造設計コース

国内でも数少ない木造に特化したカリキュラムにより、住宅から中大規模木造までプロデュースできる木造建築のスペシャリストを養成します。



年齢 18歳以上 (令和8年4月1日時点で)

※森林管理コース、林業技術コースの年齢は19歳以上

研修期間 1年(1,200時間程度)

研修料 年額130,680円(税込)

※別途、教科書・安全器具・作業服などの購入費、基礎課程100,000円程度、専攻課程40,000円～70,000円程度

支援制度も充実！

最大192.5万円を給付

高知県立林業大学校では、最大192.5万円(年間支給額。就業時の年齢が35歳以上の方は185万円になります。)の給付金を支給する支援制度により安心して研修に専念することができます。

校長は
世界的建築家
隈研吾氏！

令和9年度研修生募集日程

合格者が定員に達した場合3回目以降は実施しません。

選考区分	申請期間	選考日
推薦	1回目 7月27日(月)～9月4日(金)	9月19日(土)
	2回目 10月26日(月)～11月13日(金)	11月28日(土)
一般	1回目 9月7日(月)～10月2日(金)	10月17日(土)
	2回目 10月26日(月)～11月13日(金)	11月28日(土)
	3回目 令和9年 12月7日(月)～1月15日(金)	令和9年 1月30日(土)
	4回目 令和9年 2月8日(月)～2月26日(金)	令和9年 3月14日(日)
	持参 2月8日(月)～3月10日(水)	

R8.4月にホームページを
リニューアルしました！

高知県立林業大学校 Tel.0887-52-0784 Fax.0887-52-0788

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80 https://kochi-forestry.ac.jp E-mail:030208@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県立林業大学校 検索

Instagramもチェック！
研修の様子などを紹介します



◆保安林の皆伐等についてのお知らせ

保安林に指定されると、その機能が失われないよう、立木の伐採や土地の形質の変更等の際、必要最小限の制限を受けます。定められている制限の範囲内であっても、あらかじめ県林業（振興）事務所に許可等を受ける必要がありますので、保安林内で施業を計画されている森林所有者、事業体の皆様は、必ずご注意をお願いします。

森林法施行規則の改正（R5.4.1）により申請書等の添付書類に下記①～⑥が必要となりました。

追加必要書類	備考
①森林の位置図及び区域図	対象森林の位置や区域がわかる図面（森林計画図など）
②申請者等の確認書類	個人：氏名・住所がわかる書類（運転免許証など）の写し 法人：法人の登記事項証明書などの写し
③他法令の許認可関係書類	該当する場合のみ
④土地の登記事項証明書等	土地の権限があることがわかる書類
⑤伐採等の権限関係書類	申請者等が土地所有者でない場合のみ必要（同意書、委任状など）
⑥隣接森林との境界関係確認書類	境界杭などにより境界が明らかな場合は省略が可能

保安林内で皆伐を行う場合

保安林内で立木伐採（皆伐）をする際には、年4回の皆伐限度面積公表日の翌日からそれぞれ30日以内に申請書のご提出をお願いします。

次回の申請受付期間は令和8年9月1日～9月30日です。

【保安林内皆伐申請・許可期間スケジュール】

公表日		R8												R9					
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
令和 8 年 1 回目	2月1日	申請	伐採許可期間																
2 回目	6月1日					申請	伐採許可期間												
3 回目	9月1日							申請	伐採許可期間										
4 回目	12月1日										申請	伐採許可期間							
令和 9 年 1 回目	2月1日													申請	伐採許可期間				

保安林内で間伐を行う場合

保安林内で間伐を行う際には、**伐採を開始する90日～20日前までに**保安林内間伐届のご提出をお願いします。（除伐については届出書の提出は必要ありません）

保安林内で土地の形質変更等を行う場合

保安林内で立竹の伐採、立木の損傷、家畜の放牧、下草、落葉又は落枝の採取、土石又は樹根の採掘、開墾、その他の土地の形質を変更する行為を行う際には、作業開始前までに保安林内作業許可申請書のご提出をお願いします。なお、作業時に支障木の伐採を伴う場合は、**伐採を開始する14日前までに**立木伐採届出書を併せてご提出ください。

許可決定通知を送付した保安林内作業許可の期限満了日が近づいているものについて

1. 今後も継続して使用する場合

許可期限満了までに、再度「保安林内作業許可申請書」を提出し、申請してください。

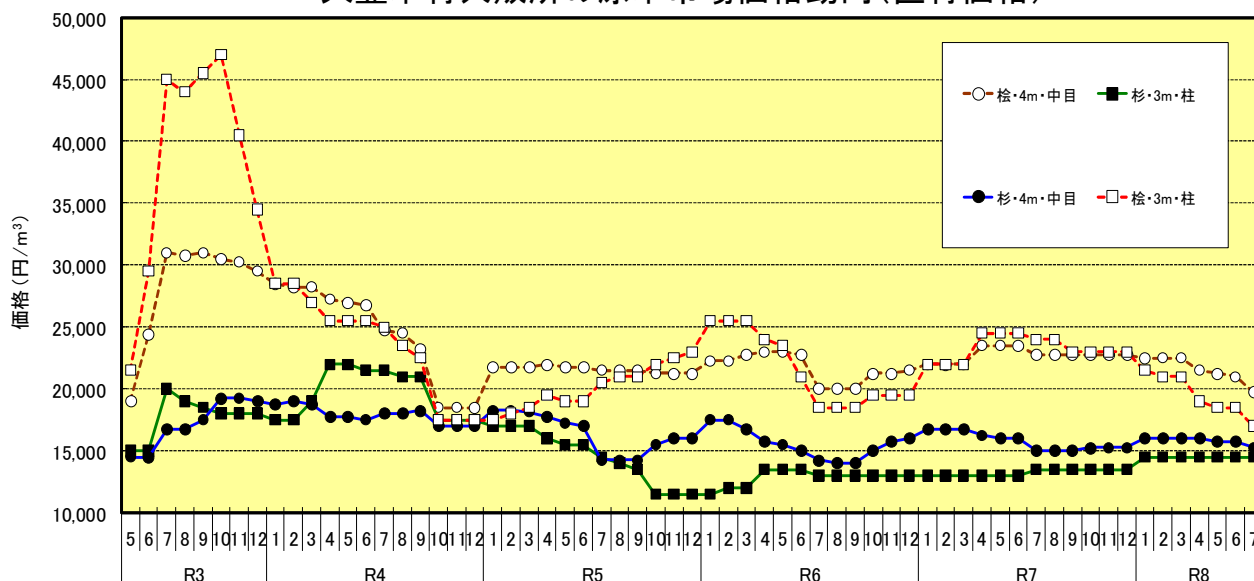
2. 許可期限を超えて使用しない場合

許可決定通知送付時に添付した「保安林内作業終了届出書」を提出してください。

その他、保安林についてご不明な点がございましたら、嶺北林業振興事務所までご相談ください。

木材市況

大豊木材共販所の原木市場価格動向(直材価格)



※1 柱・・・末口径15～16cm、中目・・・末口径18～22、24～28cmの平均

※2 このグラフは、嶺北地域の市場価格を参考としたもので、市場価格そのものを表したものではありません。

詳しい価格は各市場へお問い合わせ下さい。”

シキビ・サカキ市況

